

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	愛ちゃんの家			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～ 2025年 2月 8日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～ 2025年 2月 8日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・児童指導員など多職種による連携を行っており、専門的な療育・評価を実施している	評価を基にした個別・小集団・集団療育を専門的視点から提供・成長のステージに合わせた療育内容の検討	個々の職員のスキルアップ及び統一した療育を実施できるよう、研修や話し合いの場の頻度を上げていく
2	ご家族様のニーズに合わせた支援への取り組み・関係機関などへ情報交換・共有を実施し、適切な療育を提供している	情報を基に、職員間で共有、各職種ごとに成長のステージに合わせたプログラム・環境を考え提供している	関係機関などとの連携をより強化し、見学や打ち合わせの頻度を上げていく ご家族様の悩みや相談事への対応速度をあげていく
3	家庭環境に似た空間での療育を提供している（マンションタイプ）	基本的な日常生活動作・手洗い・うがいの練習など、家庭環境に似た空間での実践的な療育を提供している	家庭環境で起こりうる事故や怪我を子ども自身が気づけるように「視る」練習などを導入し、注意欠如の改善を図る

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者とのコミュニケーションの頻度や保護者同士が集まる機会が少ない	送迎時の短い時間や面談（最低年2回の実施）以外での様子などの発信が少ない	イベント行事などを企画し、交流する場を検討する 保護者同士が集まれる機会の検討をする 連絡ツールの検討をする
2	自己研鑽の研修の機会の確保が難しい	外部研修については、休日の実施や業務時間内の実施が多く、人員配置の確保や休日の返上をしなければならない	発達に関連する書籍の定期購読・職員への外部研修の案内・e-ラーニングを活用した自社での研修の実施
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 愛ちゃんの家

公表日 2025年 3月 24日

利用児童数 2025年 2月 8日 25名 回収数 17枚

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こども達の活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2		1	少し狭いと思いますが、その中でもできることやっていたいただいていると思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			3	なかなか施設見学で直接子どもの活動しているところを見学に行けていないので不明です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16			1	前に事業所に直接お迎えに行った際、消毒を念入りにやっていたのか消毒の匂いが玄關までしており、感染症対策をしっかりといただいているのかなと安心できました。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、お子様の特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17					
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			1		
	7	お子様のことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	17					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1				
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2		1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	3	6		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	2	2	家庭でできる遊びや対応など教えてもらえると助かります。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていていると思いますか。	17					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16			1	連絡帳にいつも寄り添うコメントが書かれています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者様同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	5	2	先輩家族の体験談など教えてもらう交流があると助かります。	
	19	お子様やご家族様からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、お子様や保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16			1		

	20	お子様や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	17					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制 等の情報や業務に関する自己評価の結果をお子様や保護者様に対して発信 されていますか。	10	1	3	3	HP・SNSでもっと活動を見せてもらえ ると嬉しいです。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16		1			
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユアル、 感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていま すか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓 練が行われていますか。	5			12		
	25	事業所より、お子様の安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事 故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15		1	1		
満 足 度	27	お子様は安心感をもって通所していますか。	16	1			親が事業所内へ行うことは少ないが、夏 祭りで親子で来所した際は、子どもがリ ラックスしている様子がありました。	
	28	お子様は通所を楽しみにしていますか。	15	2			満足している。この事業所を選んでよ かったと思います。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
愛ちゃんの家		2025年 3月 24日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		リビング・和室・食堂など活動場所を区分けしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		基準配置数に加えて、作業療法士や理学療法士、保育士、児童指導員等を1名以上配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		玄関以外、段差はありません。クッションフロアになっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		リビング・和室・食堂など活動場所を区分けして活動ごとに使い分けできるようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		複数の部屋を準備しているため、必要に応じて使用することができます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		毎日短時間ミーティング、定期的な会議で随時見直しをしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		保護者様の意向を随時伺い、業務や支援の改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		事業所会議内で意見を集約し必要に応じて改善しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10		外部評価を受けておりませんので、今後評価を受けるべく検討をしていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	6		発達に関連する書籍の定期購読・職員への外部研修の案内・e-ラーニングを活用した自社での研修の実施していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		支援プログラムは、ホームページで公表されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		日々の関りや保護者様、関係機関からの聞き取りを行い、計画に反映しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		アセスメントから計画作成、見直しまで支援者会議で全職員が関り作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		全職員が関わって作成しているため、共有されています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		経過記録を残すことで日々の行動を記録しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		ガイドライン及び保護者様の意向をくみとりながら作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		支援会議を開催しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		個別と集団の両面からアプローチをしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		発達状況に応じたプログラムを設定しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		毎日ミーティングを実施しています。	

関係機関や保護者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		スタッフ間の連絡帳や支援記録ソフトなども活用しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		毎日複写式連絡ノートや支援ソフトに記録を残して共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		定期的にモニタリングや支援会議を開催しています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児童発達支援管理責任者及び担当職員が参画するようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		必要に応じて、保健医療等の関係機関と連携がとれる体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		保育園や幼稚園との情報共有や見学を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		随時情報交換を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
保護者への説明等	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10		電話やメール等を活用し行っています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		10		感染症対策の為、控えていたため今後行っていく予定です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎時以外に、保護者との交換ノートやSNSを活用した情報交換をしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4	送迎時以外に、保護者との交換ノートやSNSを活用した情報交換や対応方法を一緒に考えています。	今後ペアレントトレーニングの実施も検討しています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		面談により意向の確認等を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		同意をいただくときは、支援計画を提示しながら説明を行っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		支援計画作成時と必要に応じて適宜行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		10		交流する機会を設けることを検討しています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		理事長や管理者が窓口となり誠実に対応するようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		ホームページやブログを更新しています。また、希望者には写真を送信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		個人情報は鍵のかかる保管庫で管理しています。また、画像については、加工の必要性を保護者様に確認した上で対応しています。	

非常時等の対応	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		その方に合わせたコミュニケーションツールを活用しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4	地域の方を事業所に招待する行事はありませんが、地域のイベントへ参加しています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2	職員への周知と訓練実施は行っています。家族等への周知については、訓練実施時に周知しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		定期的に実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		利用開始前その後、年に1回、その他状況が変わったときに確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		食物アレルギーの確認を実施しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		定期的な研修や訓練、安全管理を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	5		周知についてはまだ不十分なところがあるので、今後改善していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		回覧及びミーティング等で共有しています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		採用時に行っています。また、その他に定期的に外部講師を招いています	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		現状、身体拘束の必要な児童はおりません。	